

## 2025 年度 自己点検・評価 報告書

2026 年 6 月 1 日

えびす日本語学校

実施責任者: 校長 辻本義輝

実施担当者: 副校長 小村健、教務主任 大倉瑠美、事務を統括する職員 張 祺

対象期間: 2025 年 4 月 ~ 2026 年 3 月

実施期間: 2026 年 4 月

評価項目:

1. 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関する事。
2. 教員及び職員の組織運営に関する事。
3. 施設及び設備に関する事。
4. 日本語教育課程の編成及び実施に関する事。
5. 卒業の認定及び学習の成果に関する事。
6. 生徒への学習上及び生活上の支援に関する事。
7. 生徒の募集と受け入れ、在席管理と生活指導に関する事。
8. 教育活動等の改善を継続的に行う仕組みに関する事。
9. 地域・社会貢献に関する事。
10. 法令順守に関する事。
11. 財務に関する事。

評価基準:

4: 達成している 3: ほぼ達成している 2: 取り組みを検討中 1: 改善が必要

※ 認定日本語教育機関としては2026年度からで、2025年度は該当しない項目もあるが、認定日本語教育機関としての運営を見据えて今回の点検評価内容とした。

1. 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関する事。

評価

1-1 教育理念と教育目的が明確に定められているか

4

1-2 教育理念と教育目的が教職員及び生徒に周知されているか

3

1-3 教育理念と教育目的に基づく教育が行われているか

4

1-4 学校の将来構想を抱いているか

3

【 現状／具体的な取り組み／課題 】

教育理念や目的は明確に定められており、全ての活動がそれに基づいて行われている。教職員がこれらを認識

しているかどうか確認できていなかったが、2026年4月末に認定日本語教育機関として認定されたことを機に研修を行い、周知を図った。また、新任研修の際にも改めて伝えるようにしている。

生徒に対しては、募集段階・入国前審査の段階で伝えているが、今後入国後のオリエンテーション等でも伝えていく。

学校の将来について、定員数を増やすなどの規模の拡大ではなく、幅広い教育活動に着手していく構想はあるが、立案で止まっている、あるいは進められていないなどがあった。本年度は取り組みを強化していく。

## 2. 教員及び職員の組織運営に関すること。

|                                                                       | 評価 |
|-----------------------------------------------------------------------|----|
| 2-1 認定日本語教育機関の認定基準に適合しているか                                            | 3  |
| 2-2 運営組織や意思決定機能が確立され、効率的なものになっているか                                    | 3  |
| 2-3 危機管理体制が整備されているか                                                   | 2  |
| 2-4 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか                                   | 3  |
| 2-5 教職員の心身の健康に十分配慮した体制や環境が整備できているか                                    | 2  |
| 2-6 情報システム化等による管理や業務の効率化が図られているか                                      | 2  |
| 2-7 教職員及び生徒、施設及び設備等、教育活動に関するすべての事項、財務状況について、書類と電子データで適切に保存・管理ができていくか。 | 3  |

### 【 現状／具体的な取り組み／課題 】

2026年4月末に認定校に認定されたため、2025年度については言及するのが難しいが、告示校としての基準は十分に満たしており、2-1 に関しては上記の評価とした。

校長をはじめとして、副校長・主任・事務主任の管理職においてはいるものの、協議の時間をあまり多くとれず、十分な指示が出せていない場合も多くあり、管理運営が効率的に行われてはいなかった。また、業務の分担も曖昧になってしまっており、業務に偏りが出ている。

改善のために管理職の業務役割の再構築、教職員の業務の再分担を行った。運営の効率化を目指していきたいが、業務量は依然として多く、さらなる業務の見直しを進めていきたい。

2-7に関して、保存管理はできているものの、担当や責任がやや曖昧になっているものがあり、見直しを行う。

## 3. 施設及び設備に関すること。

|                                       | 評価 |
|---------------------------------------|----|
| 3-1 施設及び設備の管理、保全のための体制が整えられているか       | 3  |
| 3-2 施設及び設備は生徒及び教職員の安全確保に十分対応できているか    | 3  |
| 3-3 施設及び設備は教育上の必要性を十分考慮し整備されているか      | 3  |
| 3-4 生徒及び教職員のための図書教材が十分にあり、適切に更新されているか | 2  |

### 【 現状／具体的な取り組み／課題 】

消防設備やエレベーター等の点検は定期的に行っている。施設及び設備担当職員がいるが、定期的にすべてを検査することはできていない。チェックリストやマニュアル作りなどを進めていく。

女性用のトイレの不足が問題としてあったが、増設はすでに年度内に行った。

図書室の蔵書について、管理や見直しなどが十分にできておらず、生徒があまり利用していなかったように思われる。26年度初めに担当を改めて決めており、今後、管理及び蔵書の見直しを進めていく。

#### 4. 日本語教育課程の編成及び実施に関すること。

|                                               | 評価 |
|-----------------------------------------------|----|
| 4-1 コースデザインやカリキュラムは日本語教育の参照枠を参照し、体系的に編成されているか | 3  |
| 4-2 教育課程に合致した教科書・教材が適切に選定されているか               | 4  |
| 4-3 テストや宿題は教育課程が実施されるために適切な質・頻度・量が考慮されているか。   | 3  |
| 4-4 授業を評価し、改善するための体制が整備されているか                 | 2  |
| 4-5 生徒の理解度・レベルを適切に評価したクラス編成がなされているか           | 2  |
| 4-6 生徒が授業・教育に対する評価・意見などを述べることができる機会を提供しているか   | 4  |
| 4-7 教職員に対する研修の機会が十分に提供できているか                  | 3  |

#### 【現状／具体的な取り組み／課題】

教育課程に関しては、概ねできているが、認定教育機関として運営するための調整を現在行っている。

授業そのものを評価改善することは、十分にはできていなかった。人員不足とそれに欠ける時間が確保できなかったことなどが原因として考えられる。各教員の業務の効率化を図り、その上で協議の時間や研修を増やしていく。また、学外の研修等などの費用負担はすでに行っており、積極的な参加を促していく。

クラス編成に関しては、入学時のクラス分けは適切に行われている。しかし、進級の際に一部適切なレベルとは言い切れない生徒もいた。これらを改善するために、評価を学期ごとのテストのみから、ポートフォリオ評価、日々の単元テストや発表などの評価を加えた総合的な評価をしていく。

#### 5. 卒業の認定及び学習の成果に関すること。

|                                   | 評価 |
|-----------------------------------|----|
| 5-1 評価体制、評価基準及び評価方法が適切であるか        | 3  |
| 5-2 進級、修了及び卒業の判定方法と基準が明確に定められているか | 3  |
| 5-3 JLPT、EJU の結果を把握できているか         | 3  |
| 5-4 在学中のすべての成績の記録が適正に管理されているか     | 4  |

#### 【現状／具体的な取り組み／課題】

概ね達成できているが、ややレベルによってばらつきがみられていた。認定日本語教育機関として運営していくにあたり、評価方法や基準の改定を行った。進級や修了及び卒業の判定方法と基準もより明確にした。

外部試験に関しては、結果の報告が遅れる生徒もいるため、学校一括での申し込みを進めているが、まだ完全

にできてはいないため、改善に取り組んでいく。

#### 6. 生徒への学習上及び生活上の支援に関すること。

|                                    | 評価 |
|------------------------------------|----|
| 6-1 進学・就職指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか  | 3  |
| 6-2 生徒の経済面、健康面、生活全般の支援体制が整備されているか  | 3  |
| 6-3 生徒が相談できる体制が整備され、有効に機能しているか     | 3  |
| 6-4 保護者、支弁者及び紹介機関との連携は適切にできているか    | 2  |
| 6-5 母語または十分に意思疎通できる言語による支援がなされているか | 2  |

#### 【現状／具体的な取り組み／課題】

進路指導の体制はできているが、十分有効に機能しているとは言えなかった。業務の分担の見直しと指導方法などの改善を図り、より有効に機能するようにしていく。

生徒の支援については整備できているが、十分とは言えない。担任による面談の機会を増やし、校内での情報共有を徹底し、一人一人に寄り添った支援を施していく。

保護者や経費支弁者との連絡はそれほど頻繁には行われていなかった。また、紹介機関に対しても入学以降についてはあまり連絡できていなかった。生徒の成績や出席率、また生活状況などについて、問題のあるなしにかかわらず、定期的に報告する制度を検討している。

母語または意思疎通できる言語による支援は概ねできているが、学生からの要望もあり、あらゆることに対処するためにも、言語対応できるスタッフの補充を検討している。

#### 7. 生徒の募集と受け入れ、在席管理と生活指導に関すること。

|                                          | 評価 |
|------------------------------------------|----|
| 7-1 日本社会を理解し、慣習やマナーを習得するための指導が適切に行われているか | 4  |
| 7-2 日本の法令を遵守させるための指導が行われているか             | 4  |
| 7-3 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか          | 4  |
| 7-4 アルバイトに関する指導は適切に行われているか               | 3  |
| 7-5 出欠席の管理とともに学生への適切な指導が行われているか          | 3  |
| 7-6 入学希望者に対して正確な情報提供がなされているか             | 4  |
| 7-7 納付金の額や納付方法、期限などが明確に示されているか           | 4  |
| 7-8 適正かつ公正な基準に基づき、厳格に入学選考が行われているか        | 2  |

#### 【現状／具体的な取り組み／課題】

概ね達成できている。アルバイトの確認方法などの見直しを行い、入国時のオリエンテーション時のみならず、随時指導を行っている。

入学選考は厳格に行っているが、日本語力に関して基準よりやや劣る生徒が数名いた。入学審査の方法を見

直し、基準や面接の内容などの改定を行った。また、現地の教育機関や紹介機関に対しても、入学許可基準の確認や入国までの生徒の日本語力の維持・向上について通達した。

#### 8. 教育活動等の改善を継続的に行う仕組みに関すること。

|                                      | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 8-1 自己点検・自己評価の実施と、問題点の改善に努めているか      | 4  |
| 8-2 教職員評価を定期的に行っているか                 | 4  |
| 8-3 教育活動等を改善するために定期的に協議する機会が設けられているか | 3  |
| 8-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか              | 4  |
| 8-5 教育活動等を第三者的立場から助言する仕組みがあるか        | 4  |
| 8-6 関係省庁への報告は滞りなく実施しているか             | 4  |

##### 【現状／具体的な取り組み／課題】

ほぼすべての項目において達成できているが、8-3 に関しては、十分にできたとは言えない。実施するための時間をとることがなかなかできなかったことが原因。教員の業務の分担や教員補充を行ったことで、本年度からは本務等教員の定期的な会議や担当教員ごとの協議を行っている。

#### 9. 地域・社会貢献に関すること。

|                                        | 評価 |
|----------------------------------------|----|
| 9-1 地域との共生・共存のために、安全、環境等の維持、整備が行われているか | 3  |
| 9-2 地域・社会貢献の意義理解できるように、生徒に周知がなされているか   | 3  |
| 9-3 地域住民や団体に留学生への理解が得られるよう働きかけが行われているか | 3  |
| 9-4 生徒に地域・社会貢献の機会を提供できているか             | 4  |

##### 【現状／具体的な取り組み／課題】

2025年度も地域の祭りや行事にボランティアとして参加する機会を多く持てた。ただ、問題点などもある。地域活動に参加するために一部の教員に負担がかかっていることや全ての生徒に十分に周知できていないことなどである。また、道に広がったり大声で会話したりするなど、周りへの配慮が十分でない生徒も少なからずいる。

オリエンテーション時に指導しているが、登下校時に学校近辺を見回り、注意指導する機会を増やしてきた。教員の負担に関しては、協議し、全教職員に分配して負担を軽減することにした。

#### 10. 法令遵守に関すること。

|                                          | 評価 |
|------------------------------------------|----|
| 10-1 法令、認定基準等の遵守と適切な運営がなされているか           | 4  |
| 10-2 法令遵守について、教職員の理解と意識を高めるための方策が取られているか | 3  |

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 10-3 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか   | 3 |
| 10-4 著作権への認識と教材等の適切な使用方法が徹底されているか | 3 |

【 現状／具体的な取り組み／課題 】

法令遵守と適切な運営はしっかり行ってきた。日常の業務や打ち合わせ、会議の中でも常に理解と意識を高めるように働きかけている。決まった策を立てているわけではないため、全教職員に周知していくためにも、研修や勉強会などを企画・検討していきたい。

個人情報の保護に対して、管理体制は整っているが、各教職員に意識の差がある。新たにガイドラインを作成し、研修会や全体会議等で周知し、全ての教職員が適切な個人情報の取り扱いについての認識を持つようにする。

著作権に関しても、教材等には十分な注意をしている。しかし、日々の授業で使用されるすべてをチェックすることはできておらず、徹底されているとは言えない。個人情報の保護と同様に、ガイドラインの作成及び研修を行っていく。

11. 財務に関すること。

|                                  | 評価 |
|----------------------------------|----|
| 11-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか    | 4  |
| 11-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか    | 4  |
| 11-3 財務について会計監査が適正に行われているか       | 4  |
| 11-4 留学生紹介機関への仲介手数料は適正なものとなっているか | 4  |
| 11-5 関係機関への報告は適切に行われているか         | 4  |

【 現状／具体的な取り組み／課題 】

すべて適切に行われている。今後も維持していく。